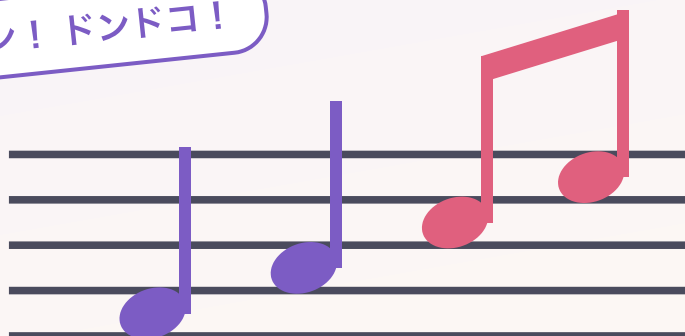


ドーン! ドンドコ!



太鼓の音、体にひびく!

和太鼓

体にひびく、力強い音のちから



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

和太鼓を知る	3～7
打ち方を学ぶ	8～11
リズムと表現	12～15
和太鼓の広がり	16～19
練習しよう	20～24
ふり回り	25～30

和太鼓ってなに？

和太鼓は、日本の代表的な打楽器です。

和太鼓（わだいこ）は、木の胴に皮を張った、日本の代表的な**打楽器**です。
ばちで打って音を出し、体にひびくような力強い音が特徴です。祭りや演奏会など、いろいろな場面で活やくしています。



和太鼓が聴こえる場面

お祭り

盆おどり

学校の運動会

神社の奉納演奏

演奏会（組太鼓）

力強い音から、人が集まる場面でよく使われます。

ポイント

- 和太鼓は、木の胴に皮を張った、日本の代表的な打楽器です。
- 大きさや形によって、いくつもの種類があります。
- 1人で打つこともあれば、大勢で合わせて打つこともあります。

やってみよう

1. 和太鼓の音を聴いたことがあれば、どんな場面だったか書こう。
.....
2. 「和太鼓」という漢字を、指でなぞって書いてみよう。

ワンポイント 「わだいこ」と読みます。おなかにひびくような低い音が、和太鼓の大きな魅力です。

書いて覚えよう

太鼓の種類

和太鼓には、いろいろな種類があります。

長胴太鼓

木をくりぬいた胴に皮を打ちつけた、
代表的な和太鼓

締太鼓

ひもやボルトで皮を強く張った、高めの音の太鼓

桶胴太鼓

軽い胴を持ち、かついで打つこともできる太鼓

ポイント

- 和太鼓は、胴の形や皮の張り方によって、いくつもの種類に分けられます。
- 種類によって、音の高さや重さ、演奏のスタイルが大きくちがいます。

やってみよう

1. 3つの太鼓の中で、いちばん聴いてみたいのはどれですか。

書いて覚えよう

長胴太鼓

長胴太鼓は、和太鼓の代表的な形です。

ポイント

- 長胴太鼓は、けやきなどの木をくりぬいてつくった胴に、牛の皮を打ちつけたものです。
- 皮をびょう（金具）でとめて張るため、張り具合を後から変えることはできません。
- 深く低い、体にひびくような音が特徴です。

やってみよう

1. 木をくりぬいてつくる楽器を、他に知っていたら書こう。

ワンポイント 大きな長胴太鼓は「宮太鼓」ともよばれ、神社などにも古くから伝わっています。

書いて覚えよう

締太鼓は、ひもで皮を締めて音を調整します。

- 締太鼓は、ひもやボルトで皮を強く締めて張る太鼓です。
- 締め方を変えることで、音の高さを調整できます。
- 高くはりのある音で、合奏の中でリズムを引っばる役割をすることが多いです。

1. ひもをきつく張ったときと、ゆるめたときの音のちがいを、輪ゴムで試してみよう。

桶胴太鼓

桶胴太鼓は、かついで打てる軽い太鼓です。

ポイント

- 桶胴太鼓は、桶（おけ）のように板を組んでつくった、軽い胴を持つ太鼓です。
- ひもで肩からかつぎ、歩きながら打つこともできます。
- 祭りの行列などで、動きながら演奏するのに向いています。

やってみよう

1. 歩きながら演奏する楽器を、他に知っていたら書こう。

書いて覚えよう

- ばちは、にぎりしめすぎず、手首が動かせるように持ちます。
- 足を肩幅くらいに開き、ひざを軽く曲げて、体を安定させます。
- 腕だけでなく、体全体を使って打つことを意識します。

1. 両手にペンを持って、正しい姿勢をイメージしながら構えてみよう。

太鼓の真ん中を、まっすぐ打ちます。

- 太鼓の真ん中あたりを、まっすぐ打つのが基本です。
- 打ったあとは、ばちをすぐに引き上げて、次の音に備えます。
- 左右の手を交互に使い、リズムよく打つ練習をします。

1. 机を両手で交互にたたいて、リズムよく打つ練習をしてみよう。

ワンポイント 力任せに打つのではなく、ばちの重さを生かして打つと、良い音が出ます。

書いて覚えよう

打つ場所によって、音の種類が変わります。

どん

太鼓の皮の真ん中を打つ、低くひびく音

かつ

太鼓のふちや胴を打つ、高くかわいた音

- 「ドン」は、皮の真ん中を打つ、低くひびく音です。
- 「カッ」は、太鼓のふちなどを打つ、高くかわいた音です。
- この2つの音を組み合わせることで、リズムに変化が生まれます。

1. 机の真ん中とはしを打ちくらべて、音のちがいを感じてみよう。

唱歌 (くちしょうが)

リズムを声に出して覚える方法があります。

○唱歌でリズムを覚えよう



「ドン・ドン・カッ・ウン」のように、声で唱えてからたたくと、リズムを覚えやすくなります。

ポイント

- **唱歌は、太鼓のリズムを声の言葉に置きかえて覚える方法です。**
- **楽器がなくても、声だけでリズムを練習できます。**
- **多くの和楽器・和の芸能で、昔から使われてきた覚え方です。**

やってみよう

1. 上のリズムを、声に出しながら手拍子で3回くり返そう。

書いて覚えよう

- 同じリズムを何度もくり返すことで、体で覚えられるようになります。
- 最初はゆっくり、慣れてきたら少しずつ速くしていきます。
- 頭で考えるより、体が自然に動くようになることが目標です。

1. 「ドン・ドン・カッ・ウン」を、ゆっくりから少しずつ速くして手拍子しよう。

- 同じリズムでも、打つ強さを変えると、まったくちがう印象になります。
- 弱い音から強い音へと盛り上げていくと、迫力が生まれます。
- 全部を強く打つのではなく、強弱の差が音楽を豊かにします。

1. 机を弱い音から強い音へと、少しずつ大きくしてたたいてみよう。

ワンポイント 強く打つときも、手首や耳を痛めないよう、無理のない範囲で行いましょう。

Lesson

かけ声・見せる動き

声と動きも、和太鼓の表現の一部です。



Ken

和太鼓の演奏って、「ソイヤ！」とかけ声をかけることもあるよね。

Emma

腕を大きく振り上げる動きも、見ていて迫力があるよね。



ポイント

- かけ声は、演奏に勢いをつけたり、仲間と息を合わせたりするために使われます。
- 腕を大きく振り上げるなど、見た目の動きも和太鼓の表現の一部です。
- 音だけでなく、体全体で表現するのが和太鼓の特徴です。

やってみよう

1. かけ声を出しながらたたくのと、無言でたたくのと、どちらがうと思いますか。

書いて覚えよう

合奏では、みんなの音を合わせることが大切です。

ポイント

- 何人かで演奏するときは、リズムや強さをそろえることが大切です。
- リーダーの合図や動きを見ながら、タイミングを合わせます。
- 1人1人がよく聴き合うことで、そろった演奏になります。

やってみよう

1. 友だちや家族と、同時に手をたたくタイミングを合わせてみよう。

書いて覚えよう

祭りの太鼓

太鼓は、祭りを盛り上げる大切な音です。

ポイント

- 多くの祭りで、和太鼓は行列やおどりを盛り上げる役割を果たしています。
- 笛や鉦（かね）と一緒に演奏されることが多いです。
- 地域ごとに、伝わっているリズムや太鼓の打ち方がちがいます。

やってみよう

1. 自分の地域の祭りに、太鼓が出てくるか調べてみよう。

書いて覚えよう

組太鼓

組太鼓は、複数の太鼓による合奏スタイルです。

ポイント

- 組太鼓は、大きさや種類のちがう和太鼓を組み合わせで演奏するスタイルです。
- 現代になって生まれた合奏スタイルで、舞台での演奏として広く知られるようになりました。
- 動きをそらえた演出も取り入れられ、見た目にも迫力があります。

やってみよう

1. いくつかの太鼓が一緒に鳴ったら、どんな響きになると思いますか。

書いて覚えよう

太鼓のマナー

楽器を大切に、周りにも気を配りましょう。

ポイント

- 太鼓の皮の部分以外（ふちなど）を強くたたきすぎると、楽器をいためることがあります。
- 順番を守り、自分の番でないときは静かに見守ります。
- 音がとても大きいので、近くで聴くときは耳を大切にしましょう。

やってみよう

1. 大きな音の楽器を練習するとき、周りへの気配りで大切なことは？

書いて覚えよう

和太鼓で1曲

もし和太鼓を打つなら、をイメージしてみよう。

打ってみたい太鼓

理由

練習したいリズム

Ken の例

打ってみたい太鼓 長胴太鼓／理由 おなかにひびく音が好きだから／練習したいリズム ドン・ドン・カッ・ウン

ポイント

- ここまで学んだことをもとに、もし和太鼓を打つなら、という想像をふくらませてみましょう。

書いて覚えよう

まねっこ遊びで、リズムに親しもう。

- ## ポイント

- ## 書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

リズムがずれる

速くなったり遅くなったり

音が小さい

力の入れどころがわからない

みんなとそろわない

自分のリズムに気を取られる

コツ

こうしてみよう

口唱歌で声に出す

先に声でリズムをつかむ

体全体を使う

腕だけに頼らない

周りの音をよく聴く

自分だけでなく全体を聴く

ポイント

- 最初からうまくいかなくて当たり前です。少しずつ慣れていきましょう。

やってみよう

1. あなたがいちばんむずかしそうに感じるのはどれですか。 _____

2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

太鼓の種類

☐ 長胴太鼓

木をくりぬいた胴を持つ太鼓

☐ 締太鼓

ひもで皮を締める太鼓

☐ 桶胴太鼓

軽くてかつげる太鼓

打ち方の言葉

☐ ドン

皮の真ん中を打つ低い音

☐ カッ

ふちを打つ高い音

☐ O唱歌

声でリズムを覚える方法

表現の言葉

☐ かけ声

勢いをつける声

☐ 強弱

音の大きさの変化

☐ 組太鼓

複数の太鼓の合奏

場面の言葉

☐ 祭り

太鼓が活やくする行事

☐ 奉納演奏

神社などでの演奏

☐ マナー

楽器と周りへの気配り

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

● オ.木をくりぬいた胴を持つ太鼓

2. ひもで皮を締めて音を調整する太鼓は → (締太鼓 / 長胴太鼓)

24

ふり返しチェック

できるようになったことを確かめよう。

- | | | |
|--------------------------|-----------------|----|
| ☐ | 太鼓の種類を3つ言える | 知識 |
| ☐ | ドンとカッのちがいを説明できる | 知識 |
| ☐ | 口唱歌でリズムをまねできる | 技能 |
| ☐ | 強弱をつけてたたける | 表現 |
| ☐ | 気になる太鼓や場面を見つけた | 興味 |

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

家でできる練習

毎日少しずつ、和太鼓のリズムにふれよう。

聴く

和太鼓の演奏を1曲探して聴く

言う

「ドン・ドン・カッ・ウン」を声に出す

たたく

机やひざで基本のリズムをたたく

見る

組太鼓の演奏動画を見る

調べる

地域の祭りの太鼓を調べる

書く

太鼓ノートに気づいたことを書く

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

気になった太鼓やリズムを、人に伝えてみよう。

気になった太鼓・
場面

音の感じ

練習してみたいこ
と

伝えたい人

Emma の例

気になった場面 お祭りの組太鼓／音の感じ おなかにひびいた／練習してみたいこと ○唱歌／伝えたい人 家族

感想を3文で書こう

① 太鼓の音は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

和太鼓の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

和太鼓の本や写真集を探す

演奏会へ

組太鼓の演奏会に行く

動画で

打ち方や動きを見る

次のステップ

雅楽

太鼓も使われる合奏音楽

民謡

太鼓とともに歌われる歌

祭りの音楽

太鼓と笛の合奏

ポイント

- この教材の次は、多くの和楽器と一緒に演奏される雅楽について学んでいきます。

書いて覚えよう

和太鼓チャレンジ

教室の外でも、和太鼓の音にはすぐ出会えます。

見つけよう

和太鼓の音が流れている場所や映像を
探す

聴こう

組太鼓が祭りの太鼓の演奏を1曲聴く

言おう

〇唱歌でリズムを声に出して言う

こたえ

L26 長胴太鼓→オ 締太鼓→ウ 〇唱歌→エ かけ声→ア 組太鼓→イ
2. ドン / 締太鼓

L33 (例) 木の胴に皮を張り、ばちで打って音を出す、日本の力強い打楽器。

書いて覚えよう

和太鼓 (Season 7 | No.66)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。